

MLC200 ドイツの現代事情

2年 1,2クォーター

担当教員 磯崎 康太郎

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 月曜日・3時限

授業概要

ドイツの現代事情を形成する一大要因として、政治・経済ともつながりの深い環境問題を取り上げる。公害大国から環境立国となったドイツの環境についての取り組みを 19 世紀から現在に至るまで概観しながら、そうした政策を支える考え方、環境に対する意識、文化的側面を、日本との比較も交えながら、検討していく。複合領域として、多様なアプローチが可能な環境問題に対して、本講義ではとりわけ人文科学の立場からの関与のあり方に注目する。

到達目標

学生は、

- (1) ドイツの現代事情を通じて、EU の一つの中核であるドイツ語圏の事情について理解を深める。
- (2) 19 世紀から 21 世紀にかけてのドイツの環境政策、環境意識が、現代社会のなかでもつ意義について考察する。
- (3) 研究文献を通じて、環境問題を巡る多様な立場について理解し、それらを分析する。
- (4) 各自が発表に責任を持ち、積極的で協働的な学びを経験する。

期待される効果

- ・ドイツの現代事情、環境政策をめぐる主張の異なる立場に精通する。
- ・人文社会科学の学問がもつ複眼的かつ批判的思考を身につける。
- ・EU やドイツの事情から、現代日本との比較の手がかりを得て、以後の研究活動に活用する。

先修科目

必修としては設定しないが、ドイツ語とその関連科目を履修することが望ましい。

教科書・参考資料等

配布資料を主たる教材とするため、教科書はとくに指定しない予定である。参考書は、以下のものを指定し、発表課題となる文献については随時紹介する。

- (a) 浜本隆史、高橋憲『現代ドイツを知るための 62 章』明石書店 2013 年
- (b) カール・ハーゼル『森が語るドイツの歴史』築地書館 1996 年
- (c) アンナ・ブラムウェル『エコロジー 起源とその展開』河出書房新社 1992 年
- (d) 吉田文和『ドイツの挑戦 エネルギー政策の日独比較』日本評論社 2015 年
- (e) K.H.フォイヤヘート他『環境にやさしいのはだれ?——日本とドイツの比較』技報堂出版 2005 年

授業の方法

この授業は講義形式を基本とするが、部分的には演習形式も取り入れる。担当教員は講義を行い、定期的に読書課題を与える。読書課題の内容について、受講生は個人またはグループで発表を行い、その質疑応答には他の受講生も積極的に参加することが求められる。また受講生は、毎回の授業時にリアクションペーパーをまとめ、学期末には最終レポートを仕上げる。

成績評価

リアクションペーパー

各回の授業の最後に記入の時間を与え、受講生が授業を振り返り、授業の内容とそれについての意見、質問、要望などをまとめる。

発表資料

読書課題は全員が取り組むものだが、受講生はそれについての発表を学期中に最低一回は行う。その際に、受講生は文献の内容紹介および自分の意見や解釈を記した、発表資料を事前に用意する。

学期末レポート

レポートのテーマは、受講生の関心に応じて各自で設定してもらうが、講義内容や受講生による発表内容を踏まえることが求められる。

成績

30%	リアクションペーパー
20%	発表資料
50%	学期末レポート

授業スケジュール

第1回:

ガイダンス、導入：ドイツ——公害大国から環境立国への道のり、読書課題の紹介と受講生による発表課題の選択

第2回:

環境問題の歴史的展開について講義：19世紀における産業革命の進展と自然科学的な知の流行

第3回:

環境問題の歴史的展開について講義：ダーウィニズムとエルンスト・ヘッケルについて

第4回:

環境問題の歴史的展開について講義：20世紀の環境の美学と郷土愛

第5回:

環境問題の歴史的展開について講義：東西ドイツの環境意識と現代／環境についての映像資料①

第6回:

環境問題の歴史的展開について講義：環境についての映像資料②、市民生活とエコライフ、受講生による発表と全体での考察

第7回:

現代事情としての環境問題についての講義：「環境首都」フライブルクの取り組み、受講生による発表と全体での考察

第8回:

現代事情としての環境問題についての講義：「持続可能な開発」をめぐる最近の動向、受講生による発表と全体での考察

第9回:

現代事情としての環境問題についての講義：風力発電機と「黒い森」の景観裁判

第10回:

現代事情としての環境問題についての講義：ディープ・エコロジー運動と地域主義、受講生による発表と全体での考察

第11回:

現代事情としての環境問題についての講義：環境教育と「自然を感じるこころ」、受講生による発表と全体での考察

第12回:

現代事情としての環境問題についての講義：環境教育とネイチャーライティング、受講生による発表と全体での考察

第13回:

現代事情としての日独比較についての講義：ドイツと日本の伝統的自然観の比較、受講生による発表と全体での考察

第14回:

現代事情としての日独比較についての講義：原発をめぐるドイツと日本、受講生による発表と全体での考察

第15回:

全体のまとめ：講義と受講生によるディスカッション、環境問題の今後の展望についての考察

事前・事後学習

- ① 講義各回に取り上げる読書課題を事前の一読すること。対応する参考図書の項目を一読すること(予習)。
- ② 講義聴講の後に、講義された内容・配布資料と共に対応する参考資料等の項目について理解を深めること(復習)。